

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 キッズサポートみらい2				公表日	2024年 12月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動の内容により安心して過ごせるような空間の設定を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		療育の配置規準に基づき1人1人に十分な関わりや支援が行えるような配置になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活が円滑に行えるような動線等の環境整備に努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		衛生面を踏まえ、毎日活動部屋のアルコール消毒を行い快適に過ごせるようにしている。(換気にも心がけている)	階段が多く、手すりの配置やフロアからの段差についての改善が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援室内でパーティションを使い個別の空間を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			利用者のニーズに配慮しスタッフ間での情報を共有しながらPDCAサイクルに基づき引き続き支援を行ってきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		情報共有しながら改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に数回、マニュアルに沿った方針の確認と事例検討など行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ご家庭にモニタリングにて説明を行い、保護者を通して園さんとの共有もしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者のニーズを基に事業所内での様子を踏まえた計画書の作成に努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用児の強みと弱さを踏まえてできることが少しずつ増えていけるように支援計画の会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の会議で職員共有している。計画に沿った活動を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		前の月の半ばで意見を出し合いながら活動プログラムを立てている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者が週前半と後半で入れ替わるため同じ活動が重複するが、年齢的な考慮も踏まえ同じ活動でも内容を変えながら工夫をこらしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			子どもの状況を見ながら期間にとらわれずに作成できたらと思う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日案の活動について事前にチームで確認を行い必要に応じて修正を行いよりよい支援に繋げられるようにしている	支援がスムーズに行えるようにシミュレーションなども行ってきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		これからも職員全員で共有しより良く支援ができるように努めたい	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			必要に応じて複数参画も考えたい	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		本項目に該当する利用者なし		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○					
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の連絡帳でのやりとりを行い事業所や園、家庭での様子など共有している		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				相談等があったら支援を行えるようにしたい	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			不明な点などは分かりやすく説明できるようにしたい	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談前に聞き取り用紙をお渡しし、家庭での様子や家族の願いなど基に、事業所での様子も含めながら適切な計画書を作成している。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			連絡帳を活用したり、場合によっては電話で対応している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会、保護者会は今のところ行っていない	現在、父母の会は行っていないが保護者からの要望があれば連携を行っていかれたらと思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			メールや緊急の場合は電話で対応している。家庭での様子は日々連絡帳でやりとりしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月発行しているお便りや毎日更新しているインスタグラムで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			2024年12月行う予定
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		日々保護者から電話や連絡帳などで都度確認を行い、契約時にも事前確認を行っている	今のところ食物アレルギーの利用者がおらず指示書の把握が出来ていないため、職員への周知が必要である
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		緊急時に備えた避難訓練を行っている。また、事業所内での安全を考え、机等に角ガードやドアストッパーを使用している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家庭との連絡は電話やメールで個々に行えることを周知している。	災害が生じた場合、緊急を要する連絡手段の検討が必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	本項目に該当する利用者なし	